



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 太平洋興発株式会社

上場取引所 東

コード番号 8835 URL <https://www.taiheiyo.net/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）板垣 好紀

問合せ先責任者 （役職名）経理部長 （氏名）高橋 光幸 TEL 03-5830-1602

半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	22,030	18.0	646	59.9	478	71.5	364	74.8
2025年3月期中間期	18,677	△7.8	404	△31.8	279	△42.0	208	△33.0

（注）包括利益 2026年3月期中間期 431百万円（124.4%） 2025年3月期中間期 192百万円（△60.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	46.88	—
2025年3月期中間期	26.82	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	45,982	16,219	34.3	2,030.13
2025年3月期	47,742	16,095	32.8	2,013.32

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 15,792百万円 2025年3月期 15,662百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	39.00	39.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,800	△12.5	1,160	35.3	820	44.7	520	36.0	66.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	7,783,448株	2025年3月期	7,783,448株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	4,168株	2025年3月期	4,168株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	7,779,280株	2025年3月期中間期	7,779,280株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(中間連結貸借対照表に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の増加等を背景に緩やかな回復基調が継続する一方で、長期化する物価上昇による消費への影響懸念や、米国の通商政策による景気の下振れリスク等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況下、当中間連結会計期間の経営成績は、商事セグメントの輸入炭販売数量が増加したこと等により、売上高は220億30百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益は6億46百万円（同59.9%増）、経常利益は4億78百万円（同71.5%増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は3億64百万円（同74.8%増）となりました。

#### ①不動産セグメント

賃貸ビルの空室率低下等により、売上高は15億89百万円（前年同期比4.2%増）となり、営業利益は4億42百万円（同0.2%増）となりました。

#### ②商事セグメント

輸入炭の販売数量が増加したこと等により、売上高は153億80百万円（同30.4%増）となり、営業利益は4億62百万円（同68.4%増）となりました。

#### ③サービスセグメント

有料老人ホームの稼働率上昇等により、売上高は28億16百万円（同6.1%増）となり、営業利益は2億7百万円（同17.1%増）となりました。

#### ④建設工事セグメント

建設工事の受注が減少したことにより、売上高は9億2百万円（同34.4%減）となり、12百万円の営業損失（前年同期は42百万円の営業利益）となりました。

#### ⑤肥料セグメント

農業用肥料等の販売数量が増加したことにより、売上高は13億43百万円（前年同期比1.0%増）となったものの、原材料価格の高騰等により11百万円の営業損失（前年同期は66百万円の営業損失）となりました。

### （2）当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は459億82百万円となり、前連結会計年度末に比べて17億60百万円減少となりました。この主な要因は、現金及び預金が6億44百万円増加したものの、商品及び製品が14億44百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が7億79百万円減少したこと等によるものであります。

負債は297億62百万円となり、前連結会計年度末に比べて18億85百万円減少となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が17億94百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は162億19百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億24百万円増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が61百万円、その他有価証券評価差額金が68百万円増加したこと等によるもので、この結果、自己資本比率は34.3%（前連結会計年度は32.8%）となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、56億67百万円となり、前中間連結会計期間に比べて41百万円減少となりました。また、前連結会計年度末に比べて7億9百万円増加となりました。

なお、当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は12億56百万円（前年同期は2億56百万円の支出）となりました。これは、主に事業活動に伴う商品及び製品の輸入炭等の販売によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億5百万円（前年同期は4億84百万円の支出）となりました。これは、主に固定資産の取得によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億42百万円（前年同期は16億5百万円の収入）となりました。これは、主に借入金の返済によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想については、現時点で2025年5月9日に公表した計画から変更はありません。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,318	5,963
受取手形、売掛金及び契約資産	4,011	3,232
販売用不動産	57	73
未成工事支出金	85	82
商品及び製品	8,377	6,933
原材料及び貯蔵品	257	303
その他	1,353	1,123
貸倒引当金	△9	△7
流動資産合計	19,451	17,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,664	8,535
土地	14,362	14,385
その他（純額）	1,200	1,224
有形固定資産合計	24,227	24,145
無形固定資産		
その他	69	60
無形固定資産合計	69	60
投資その他の資産		
投資有価証券	1,110	1,201
長期貸付金	2	3
差入保証金	2,060	2,056
その他	835	824
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	3,994	4,072
固定資産合計	28,291	28,278
資産合計	47,742	45,982

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,754	2,959
短期借入金	10,247	9,904
未払法人税等	156	194
賞与引当金	223	229
その他	3,497	3,514
流動負債合計	18,878	16,803
固定負債		
社債	2,162	2,542
長期借入金	3,940	3,936
受入保証金	3,333	3,212
債務保証損失引当金	1,031	1,031
退職給付に係る負債	558	554
資産除去債務	107	107
その他	1,635	1,572
固定負債合計	12,768	12,959
負債合計	31,647	29,762
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,244	4,244
資本剰余金	3,419	3,419
利益剰余金	6,625	6,686
自己株式	△4	△4
株主資本合計	14,285	14,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	572	640
土地再評価差額金	807	807
退職給付に係る調整累計額	△2	△1
その他の包括利益累計額合計	1,376	1,446
非支配株主持分	433	426
純資産合計	16,095	16,219
負債純資産合計	47,742	45,982

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	18,677	22,030
売上原価	16,561	19,605
売上総利益	2,116	2,425
販売費及び一般管理費	1,711	1,778
営業利益	404	646
営業外収益		
受取配当金	36	35
事業分量配当金	24	28
その他	44	48
営業外収益合計	105	112
営業外費用		
支払利息	146	196
その他	84	84
営業外費用合計	231	281
経常利益	279	478
特別利益		
固定資産売却益	5	4
投資有価証券売却益	28	47
特別利益合計	34	52
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前中間純利益	312	529
法人税等	99	167
中間純利益	213	361
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失（△）	4	△2
親会社株主に帰属する中間純利益	208	364



## （中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	213	361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	68
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	△21	69
中間包括利益	192	431
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	187	434
非支配株主に係る中間包括利益	4	△2

## （3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	312	529
減価償却費	412	437
固定資産売却損益（△は益）	△5	△4
固定資産除却損	0	1
受取配当金	△36	△35
受取利息	△0	△0
支払利息	146	196
投資有価証券売却損益（△は益）	△28	△47
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	565	779
棚卸資産の増減額（△は増加）	△4,472	1,384
仕入債務の増減額（△は減少）	3,186	△1,794
前受金の増減額（△は減少）	127	47
預り敷金及び保証金の増減額（△は減少）	172	△120
その他	△390	164
小計	△9	1,535
利息及び配当金の受取額	36	36
利息の支払額	△170	△210
法人税等の支払額	△116	△132
法人税等の還付額	3	26
営業活動によるキャッシュ・フロー	△256	1,256
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△474	△311
固定資産の売却による収入	5	4
資産除去債務の履行による支出	△3	—
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
長期貸付金の回収による収入	0	0
投資有価証券の売却による収入	52	57
定期預金の増減額（△は増加）	△36	65
保険積立金の解約による収入	—	17
その他	△28	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△484	△205
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	828	828
社債の償還による支出	△440	△460
短期借入れによる収入	5,868	7,397
短期借入金の返済による支出	△4,917	△7,970
長期借入れによる収入	2,104	1,350
長期借入金の返済による支出	△1,478	△1,123
リース債務の返済による支出	△49	△57
配当金の支払額	△303	△303
その他	△6	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,605	△342
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	866	709
現金及び現金同等物の期首残高	4,843	4,957
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,709	5,667

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	636	11,791	2,643	1,375	1,330	17,778	—	17,778
その他の収益	888	1	9	—	—	899	—	899
外部顧客への売上高	1,524	11,793	2,653	1,375	1,330	18,677	—	18,677
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	157	99	94	0	399	△399	—
計	1,572	11,950	2,753	1,470	1,330	19,076	△399	18,677
セグメント利益又は損失 (△)	441	274	177	42	△66	869	△465	404

（注） 1. セグメント利益又は損失の調整額△465百万円は、セグメント間取引消去△28百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△436百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社グループの総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2025年4月1日 至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	688	15,378	2,806	902	1,343	21,118	—	21,118
その他の収益	900	1	9	—	—	911	—	911
外部顧客への売上高	1,589	15,380	2,816	902	1,343	22,030	—	22,030
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46	278	103	34	0	463	△463	—
計	1,636	15,658	2,919	936	1,343	22,494	△463	22,030
セグメント利益又は損失 (△)	442	462	207	△12	△11	1,089	△442	646

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△442百万円は、セグメント間取引消去△4百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△437百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社グループの総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

保証債務

次の会社について金融機関からの借入又は取引に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
太平洋炭礦(株)	3,303百万円	3,303百万円